

あいち農産物生産流通レポート

平成28年10月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ ハウスみかんの省エネ温度管理技術を開発	(農業総合試験場) 1
・ 平成28年度あいち食育いきいきミーティングを開催しました	(食育推進課) 3
◎ 地域トピックス	
・ JA西三河いちじくスクール、実習ほ場の収穫がスタート!	(西三河農林水産事務所) 4
◎ 東日本情報	
・ 野菜を効果的に食べよう	(東京事務所) 5
◎ 西日本情報	
・ 次世代施設園芸愛知拠点の取組について	(園芸農産課) 7
◎ フラワーページ	
・ フラワーウォークの取組について	(愛知県花き温室園芸組合連合会) 9
◎ 青 果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	11
・ 名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し	12
◎ 花 き	
・ 切花・鉢花の10月の見通し(県内市場)	24
◎ 輸出入	
・ 主要農林水産物の輸出入実績(2016年7月)	28
◎ 関連指数	29

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6719

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

ハウスみかんの省エネ温度管理技術を開発

農業総合試験場

1 はじめに

本来、みかんは秋から冬に収穫されますが、ハウス内で暖房しながら育てることで初夏から収穫できます。愛知県では昭和44年に全国に先駆けてハウスみかん栽培が開始され、現在では生産量全国第2位のハウスみかん産地に発展しています。県内産地の中心的な作型では11月に加温を開始し、気温の低い2月から3月に暖房によって最低温度を24℃に保つため、多量の重油が消費されます。さらに、暖房用の重油価格は平成16年から価格が高騰し、依然として高い水準にあるため、ハウスみかん農家の負担となっています。

農業総合試験場では平成20年度にヒートポンプ冷暖房機を重油暖房機と併用することによって重油消費量を68%削減する技術を開発しました。しかし、ヒートポンプ冷暖房機導入には10a当たり約300万円の初期投資が必要となります。

そこで、重油暖房機に2万円程度の温度制御機を取り付け、設定温度と実際に重油暖房機が作動するまでの温度差（以下「動作隙間（どうさすきま）」とする）を拡大し、節油効果と果実品質及び収量に及ぼす影響について検討しました。

2 成果の概要

試験場内のハウス2棟を用い、重油暖房機の動作隙間が初期設定の0.8℃の場合（慣行区）と4℃に拡大した場合（変温区）とで重油暖房機の稼働時間と果実品質及び収量について比較しました。図1に慣行区及び変温区における動作隙間のイメージを示しました。表1は各年度の動作隙間拡大処理期間です。試験の結果、変温区における加温期間中の重油暖房機稼働時間は、慣行区に比べて平均で約10%削減されました（図2）。果実品質及び収量に対する影響を表2に示しました。果実品質は若干低下する年度もありましたが、商品性には影響しない程度でした。収量についてはいずれの年度にも差は認められませんでした。なお、平成25年は加温開始から動作隙間を拡大したため変温区の花の満開期が3日遅れました。満開期の遅れは収穫と次年度の加温開始の遅れにつながる可能性があり、動作隙間拡大は満開期以降に開始するのが望ましいと考えられます。

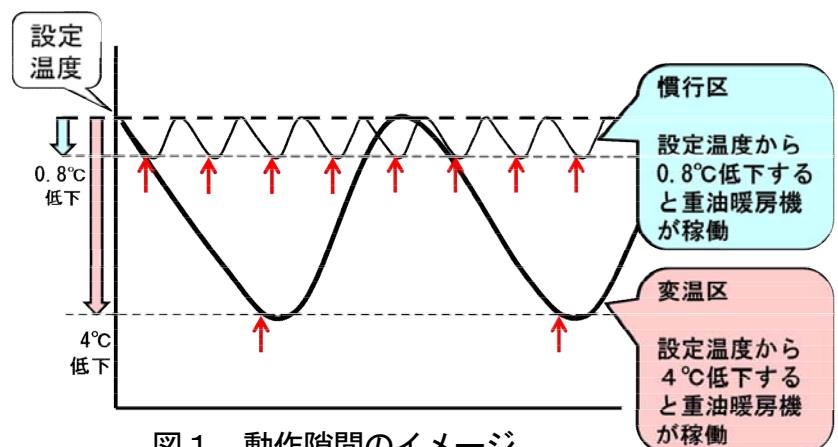


図1 動作隙間のイメージ

注) 矢印の時点で重油暖房機が稼働を開始し、設定温度になると停止する。

表1 動作隙間拡大処理期間

年度	動作隙間拡大期間	
	開始日	終了日
H24	2/17 (果実肥大期)	5/31 (加温停止日)
H25	11/29 (加温開始日)	5/27 (加温停止日)
H26	1/9 (満開期)	5/23 (加温停止日)
H27	1/14 (満開期)	5/27 (加温停止日)

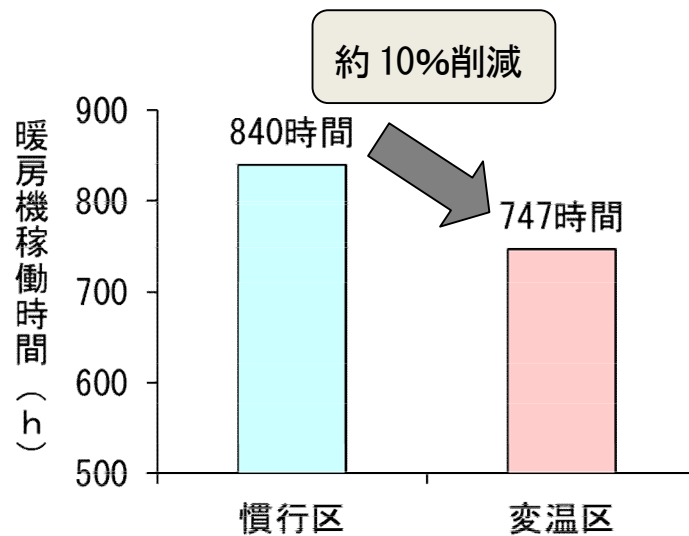


図2 重油暖房機稼働時間の削減効果

表2 果実品質及び収量に対する影響

年度	果実品質	収量	その他
H24	着色優れる	差無し	
H25	一果重減、着色優れる	差無し	満開期3日遅れ
H26	差無し	差無し	
H27	果肉率減	差無し	

注) 果実品質及び収量は慣行区との違いを表しています。

3 まとめ

ハウスみかん栽培において、重油暖房機の動作隙間を満開期以降に4℃に拡大することにより、果実品質及び収量に問題なく重油消費量を削減できる可能性が示されました。本技術では少ない投資で一定のコスト削減効果が期待でき、ハウスみかん農家の省エネ対策の選択肢が広くなり、特に資金等の問題によりヒートポンプが導入されていないハウスを中心に活用される可能性を持っています。なお、省エネ効果や果実品質等への影響は加温開始時期や栽培条件によって左右されると考えられるため、これらの影響を現地実証等で確認しながら導入を進めていく必要があります。

平成 28 年度あいち食育いきいきミーティングを開催しました ～「あいち食育いきいきプラン 2020」キックオフ・ミーティング～

食育推進課

愛知県は、平成 28 年 7 月 28 日(木)に、愛知県西三河総合庁舎において、『平成 28 年度あいち食育いきいきミーティング～「あいち食育いきいきプラン 2020」キックオフ・ミーティング～』を開催しました。



本年度は、平成 28 年 3 月に作成・公表された第 3 次愛知県食育推進計画「あいち食育いきいきプラン 2020」(計画期間:平成 28 年度～平成 32 年度)の皮切りの年であることから、食育の大切さを再認識し、今後の地域での食育活動の参考としていただく内容としました。

当日は、「あいち食育いきいきプラン 2020」の概要説明の後に、愛知学院大学 心身科学部 健康栄養学科教授 酒井映子氏から「食生活の現状と改善に向けて～地域に根ざした食育の推進～」と題して御講演いただき、若い世代の食生活の現状と課題について解説いただきました。

食育は食を通した QOL (quality of life) の向上であり、食育の担い手としての役割は①若い人から学ぶ、②日々チャレンジをする、③知識と技術のスキルアップする、④自己成長する、であり、食育活動として他の人をサポートすることで自分自身をも成長させるものであるとお話がありました。



また、地域における食育の優良活動事例報告として「第 3 回食と農林漁業の食育優良活動表彰農林水産大臣賞」を受賞された特定非営利活動法人だいきっず 代表理事 沢田和英氏に「大豆は宇宙だ！～食を通じて共に育つ～」と題して御報告いただきました。

だいきっずの食育活動は、大豆の栽培、収穫、豆腐づくり等の活動を通じて、子どもに“食事はとても楽しいものだ”ということを時間を共有しながら伝えることにあります。

食育の原点は家族にあり、おいしい、うれしい、たのしいが感じられる食の原風景を幼い頃に体験してもらうことが大切であるとのことでした。



参加者からは、「今やっている食育の大切さが再認識でき、今後の方向性を考えるきっかけになった」等の意見が聞かれるなど、食育を進めていく上で新しい「気づき」が参加者にもたらされたのではないかと思います。

このミーティングが食育活動を進めていく上での一助となることを期待しています。

ＪＡ西三河いちじくスクール、実習ほ場の収穫がスタート！

西三河農林水産事務所

全国有数のいちじく産地であるＪＡ西三河（西尾市）では、いちじくの新規栽培希望者を対象とした「ＪＡ西三河いちじくスクール」を平成 27 年度より開校しています。

ＪＡ西三河はスクール実習ほ場として西尾市吉良町駸馬（まだらめ）地区の遊休農地を借上げ、平成 27 年 4 月に西三河の主要品種である「柵井ドーフィン」の苗木を 110 本定植しました。

開校 2 年目にあたる本年度は、昨年度定植した苗木が 2 年樹となり、初収穫を迎えました。

ＪＡ西三河、ＪＡあいち経済連、西三河農業改良普及課西尾駐在室の職員、ＪＡ西三河いちじく部会員を講師として招き、2 期生である 24 名は、月 1 回程度の集合研修と、除草や病害虫防除などの班別実習により日々技術を磨いています。

また、いちじくスクールの実習ほ場では、いちじくの結果枝の誘引設備として、雨よけ施設、棚、支柱の 3 通りを備えており、普段の実習ほ場での栽培管理を通じて、自身の就農時のほ場設備を検討することができます。

さらに、これらの研修に加え、県内優良園地やパッキングセンターなどの視察調査に意欲的に取り組み、栽培技術だけではなく、いちじく農家の経営や出荷調整のポイントなども学び、一人前のいちじく農家として自立するための具体的なイメージを膨らませることができます。

なお、スクール卒業生の大半はＪＡ西三河いちじく部会に参加し、ＪＡ西三河管内でいちじくの栽培を開始します。卒業生のうち、希望者には管内の優良農地をあっせんすることで、卒業後も安定して就農することのできるよう支援しています。

農政課では、今後もいちじくスクールを、就農相談から地域への定着までの一貫した就農支援システムとして、さらに発展していくよう支援していきます。



いちじくスクールほ場（雨よけ施設）



講師（写真左）による収穫の指導



一次選別とパック詰め作業

野菜を効果的に食べよう

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

野菜の日である平成28年8月31日（水）に「野菜シンポジウム ―機能を知っても〜っと食菜健美―」（主催：野菜需給協議会、独立行政法人農畜産業振興機構）が都内イイノカンファレンスセンターで開催され、農産物の機能性に関する最新情報や、機能性表示制度の講演が行われましたので、その概要を紹介します。

1 目的

野菜は近年、生活習慣病の予防にも効果があることが明らかにされていますが、国民一人あたりの野菜摂取量は目標量（平均350g/日以上）を下回る状況です。また消費者は生鮮食品購入時に知りたい情報として鮮度や栄養について、国産かどうか等を挙げています。そのような中、多くの人がもっと野菜の栄養や機能性を知ること、より効果的に野菜を食べて、健康で美しい生活を送っていただくことを目的に本シンポジウムが開催されました。

2 講演内容

○ 野菜の栄養・機能性について

（講演者：デザイナーフーズ(株) 市野真理子氏）

厚生労働省が平成22年に発表した、日本人の「健康寿命」は男性70.4歳、女性73.6歳となっており、また心臓病やがんなどの起因になり得る生活習慣病は、誤った食生活がもたらす食原病が深く関わっているとされています。これらを踏まえ、市野氏は「健康寿命を長くしていきたい。食で医療費を削減しよう。」という目標を掲げて野菜の栄養・機能性に注目した講演をされました。

普段の食生活に機能性のある野菜を効果的に取り入れていくにあたっては、

- ・ 野菜の持つ機能性が最も高まる時期を知っておくこと（例：キャベツは冬が旬であり、抗酸化力が高い時期も1-3月となる）
- ・ 野菜が持つ機能性栄養成分は色で認識して



旬な野菜を紹介

おくとよい。(例：赤色はリコピン、黄色はカロテン等)
とのことでした。

また、野菜のもつ栄養を『売り』にしてスーパー等の食品売場でPRする場合においては、例えばかぼちゃであれば、「カロテンが多く、栄養価が高い」という情報をポップなどで表示するだけでなく、「カロテンは油と一緒にとったほうが吸収がいい」、「煮物だけでなく、そばろあんかけやつぶしてサラダにする」など、消費者とのコミュニケーションをとりながら、栄養摂取に効果的な調理の仕方や幅広い調理方法を提案することで、野菜を購入しやすい環境へとつなげる必要性を説かれました。

3 まとめ

食品表示法が平成27年4月に施行され、また、生活習慣病の予防の観点からも食生活の改善が提唱されています。消費者が機能性のある野菜を手に入れるためには、普段買い物している食品スーパー等に機能性表示食品が陳列され、選択できる環境になることが重要になります。また、機能性のある農産物を農業者が経営に取り入れることも必要になってくるのではないかと思われました。

このシンポジウムでの、科学的なアプローチによる野菜の力や魅力の紹介が、出席された多くの方々によって、食生活の改善方法とともに、野菜摂取量の増加への働きかけにつながっていくことを期待します。

☆機能性表示食品とは？

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品。販売前に安全性及び機能性の根拠に関する情報などが消費者庁長官へ届け出られたもの。ただし、特定保健用食品とは異なり、消費者庁長官の個別の許可を受けたものではない。

次世代施設園芸愛知拠点の取組について

園芸農産課

豊橋市にある豊川浄化センターの施設内で整備を進めている、次世代施設園芸愛知拠点の取組について紹介します。

1 次世代施設園芸とは

農林水産省は、先端技術と強固な販売力を融合させ、地域の未利用資源エネルギーの活用と生産から調製・出荷までを一気通貫して行う次世代施設園芸拠点を整備するため、「次世代施設園芸導入加速化支援事業」を平成 25 年度補正予算から開始しました。

この事業では、施設の大規模な集約によるコスト削減や、ICT を活用した高度な環境制御技術による野菜などの園芸作物の周年・計画生産の実現を目指すため、以下の 4 つの施設を全て備えた次世代施設園芸の拠点整備が全国 10 箇所で行われています。

- ① 温度や湿度など高度な環境制御が可能な大規模温室（温室面積概ね 3 ha 以上）
- ② 脱化石エネルギーを利用した暖房設備（化石燃油使用量の削減 3 割以上）
- ③ 完全人工光型植物工場による育苗施設
- ④ 集出荷施設

2 愛知拠点の概要

(1) 事業実施主体

愛知豊橋次世代施設園芸推進コンソーシアム

[構成員]

民間企業	イノチオアグリ(株)、(株)サイエンスクリエイト
生産者	イノチオみらい(株)
自治体	愛知県（農林水産部、建設部）、豊橋市
販売先	イノチオつなぐ(株)、(株)ゲアル・アトレ（外食関係）を始め 4 社
農業団体	JA 豊橋、JA あいち経済連
その他	豊橋技術科学大学

(2) 事業実施場所

豊川浄化センター敷地内（豊橋市新西浜町）

(3) 事業年度

平成 27～28 年度

(4) 主な施設整備

- ミニトマト栽培温室 3.6ha
- 下水処理場の放流水の熱を利用し温室を暖房する設備
- 完全人工光型植物工場による育苗施設
- 集出荷施設

(5) 愛知拠点の取組のポイント

- ミニトマトで地域の平均収量の約2倍となる 21 t / 10 a を実現
- 下水処理場の放流水等の熱を利用して、化石燃料使用量を3割削減する環境に優しい施設園芸の加温技術を実証
- 環境に優しく、高品質・高収量のミニトマト生産モデル拠点として実証成果を地域の農業者等に公開し、高度な栽培技術を地域に普及

(6) 施設整備の予定

H27		H28		H29	
造成工事	栽培施設工事	◆H28.9 一部施設で栽培開始			
	集出荷施設工事	栽培施設工事	(全施設栽培はH29.12頃の予定)		
		集出荷施設工事			

【施設全体図 (イメージ)】



【施設の全景 (整備中)】



【栽培開始した施設内部】



フラワーウォークの取組について

愛知県花き温室園芸組合連合会

1 フラワーウォークとは

県内の花の生産者組織である愛知県花き温室園芸組合連合会が、花のある暮らしの推進と愛知県産の花きの消費拡大を図るために、県民が花に親しむ機会を作り、街中を花を持って歩いてもらおうと平成20年に提唱したもので、平成21年度から県庁を挙げて応援・参加しています。

2 県庁におけるフラワーウォークの取組

平成28年度は、更なる消費拡大につなげていくため、物日とリンクしてフラワーウォークを実施することとし、年に6回「今月のあいちの花」をワンコイン（500円）で販売しています。本年度も既に、6月と8月にフラワーウォークを実施しており、6月には父の日のギフトとしても利用できるポットローズを680鉢、8月には県の育成品種であるクルクマ「アイルージュ」を529鉢配布しました。

花を持って歩こう。FLOWER WALK

8月
クルクマ(鉢)

花を持って街を歩こう。「FLOWER WALK」運動に御参加いただきありがとうございます。8月のFLOWER WALKは、「クルクマ」です。暑い夏の間でも楽しめるあいちの花をワンコインでお持ち帰りください。

今回は、県の育成品種「アイルージュ」の鉢を配布します！球根や〜7球程度植え込んでありますので、お渡し後も花が咲いていく様子が楽しめます！

申込締切 8月12日(金)17:00
配布日 8月19日(金)12:30~13:00
配布場所 西庁舎5階 共用会議室

※サイズは4号鉢(直径12cm)、色などの指定はできません。

Flower Kingdom, Aichi
花の王国あいちのホームページができました！
<http://www.flower-kingdom.jp/>

*実施月	今月のあいちの花
4月	カーネーション(切花)
5月	アジサイ(鉢)
6月	花びら(鉢)
7月	アンズ(鉢)
8月	クルクマ(鉢)
9月	アワビ(切花)
10月	ブルーム(切花)
11月	ガーデンシクラメン(鉢)
12月	ポインセチア(鉢)
1月	アルストロメリア(切花)
2月	スプレーバラ(切花)
3月	ガーベラ(切花)

主催
愛知県花き温室園芸組合連合会
E-mail engei@pref.aichi.lg.jp
※別途の申込書にて記入の上、上記メールアドレスまでお申込みください。
※取組で収益が認められる場合は、子どもたちが花を見て、命を大切にしようとする「花き」活動に活用させていただきますので、ご了承ください。



募集チラシ（8月）

8月に配布したクルクマ「アイルージュ」

なお、本年度はあと4回、以下の品目でフラワーウォークを予定しています。



11月
ガーデンシクラメン



12月
ポインセチア



2月
スプレーバラ



3月
ガーベラ

【参考】平成 28 年度のフラワーウォーク実施予定（*の月で実施予定）

月	品名
4月	カーネーション（切花）
5月	アジサイ（鉢）
6月*	ポットローズ（鉢）
7月	アンスリウム（鉢）
8月*	クルクマ（鉢）
9月	グロリオサ（切花）
10月	ブルームマム（切花）
11月*	ガーデンシクラメン（鉢）
12月*	ポインセチア（鉢）
1月	アルストロメリア（切花）
2月*	スプレーバラ（切花）
3月*	ガーベラ（切花）



【参考】平成 27 年度のフラワーウォーク実施実績

月	品名	提供元	数量
4月	デルフィニウム（切花）	愛知名港花き卸売事業協同組合	397
7月	ドラセナ類（鉢）	愛知名港花き卸売事業協同組合	392
10月	バラ（切花）	県花き連ばら部会	800
11月	シャコバサボテン（鉢）	県花き連鉢物部会	545
1月	ピンポンマム（切花）	愛知名港花き卸売事業協同組合	508
2月	フラワーバレンタイン花束（切花）	名古屋生花小売商業協同組合	356
3月	スイートピー（切花）	愛知名港花き卸売事業協同組合	540

3 フラワーウォークの周知

また、広くフラワーウォークの取組を知っていただくために、本庁舎 1 階、西庁舎 1 階及び 5 階、自治センター 1 階のお手洗いで、フラワーウォークで配布した商品を展示しているほか、平成 28 年度に新たに作成した花の王国あいち県民運動実行委員会のホームページでは、毎月「今月のあいちの花」の写真を募集し、トップページに掲載しています。

これらの取組を通して、花のある暮らしの推進と愛知県産の花きの消費拡大を図ってまいります。



お手洗いで展示

花の王国あいち県民運動実行委員会ホームページ

<http://www.flower-kingdom.aichi.jp/>

愛 知 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
27年実績	733	304 (41%)	167	210	三重 (58%) 愛知 (41%)
28年見通し	720	290	160	220	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知、三重から入荷する。生育順調で、前進して出荷が見込まれる。当初、雨が少なく小玉傾向を予想していたが、9月に入ってから雨でやや玉が肥大も出てきており、昨年並みの大きさの玉となっている。着果数は昨年並みかやや少ない。 入荷量は前年並み、単価は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>次郎柿は、食味、食感が重要で選果を徹底し、軟果に注意して欲しい。 消費者への安定的な供給のため、安定した品質、出荷をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
27年実績	1,997	1,509 (76%)	192	182	静岡 (23%) 岐阜 (0.7%)
28年見通し	2,000	—	200	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知中心に静岡などから入荷する。愛知は10月下旬から11月上旬にかけてピークを迎える。開花時期に開きがあり、早く開花したものは大玉、遅く開花したものは小玉傾向が見られる。入荷量は前年並みとなり、価格は前年をやや上回る見込みである。</p>			<p>「りんご」「みかん」「なし」など競合する果実が豊富な時期にあたる。果実全体に販売環境が厳しい中で、いかに安定した品質の「柿」を消費者に提供できるのかが重要となる。このため、選果選別を徹底し、予約販売に向け産地の出荷動向などの確な情報が求められる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

9月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	23年	36,104	212	250	222	174	北海道 43%
	24年	38,044	176	177	175	168	長野 19%
	25年	36,432	202	207	193	206	茨城 7%
	26年	39,598	179	194	176	163	群馬 7%
	27年	38,706	216	234	216	192	
	計	5ヵ年平均	37,777	197	—	—	—
28年見通し	36,600	221	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
だい	23年	2,707	117	185	105	81	青森 44%
	24年	2,631	80	95	73	79	北海道 33%
	25年	2,275	114	121	95	124	新潟 13%
	26年	2,542	77	90	84	64	岐阜 3%
	27年	2,469	95	106	106	80	
	計	5ヵ年平均	2,525	96	118	93	85
28年見通し	2,100	130	130	130	130		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
に	23年	2,753	133	161	161	102	北海道 91%
	24年	2,972	92	115	103	72	青森 8%
	25年	2,647	127	136	125	123	
	26年	2,634	98	111	106	86	
	27年	2,735	119	126	122	115	
	計	5ヵ年平均	2,748	113	128	124	99
28年見通し	1,800	250	250	250	250		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							

東京都中央卸売市場

9月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	23年	136,379	223	268	227	183	北海道 28%
	24年	145,020	196	198	194	196	茨城 13%
	25年	141,453	220	225	206	226	長野 12%
	26年	146,886	192	206	189	182	群馬 10%
	27年	142,190	237	258	242	214	千葉 10%
	5ヵ年平均	142,386	213	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	140,000	230	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>台風、曇雨天の影響でだいこん、にんじんは出荷は大きく減る見込み。葉茎菜類は前進出荷傾向から高冷地の切り上がり及早まる見込み。主力産地は関東に移行し西南暖地からの入荷が始まってくる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をわずかに下回る見込み。</p>							
だいこん	23年	13,391	102	161	91	69	北海道 31%
	24年	13,411	73	83	65	70	青森 29%
	25年	13,910	105	112	86	112	千葉 27%
	26年	14,289	72	89	74	58	茨城 6%
	27年	14,255	86	104	89	68	岩手 3%
	5ヵ年平均	13,851	88	109	81	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	13,000	131	130	132	132	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、青森、千葉からの入荷が中心となる。北海道、東北は盆明けからの台風、曇雨天の影響で病害発生や生育不良がみられ出荷は前年割れの見込み。千葉は播種遅れあるが全体的には生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	23年	8,065	140	155	152	114	北海道 91%
	24年	8,767	101	118	99	88	青森 7%
	25年	8,738	126	131	121	126	中国 1%
	26年	9,276	90	101	93	80	
	27年	9,125	116	120	117	111	
	5ヵ年平均	8,794	114	124	116	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,500	270	270	270	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷が中心で青森が増えてくる。北海道は盆明けからの台風、曇雨天の影響で歩留まりが悪く肥大不足で細物中心の見込み。</p> <p>入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうき	23年	3,704	99	188	119	56	長野 93%
	24年	3,862	51	49	46	66	北海道 4%
	25年	4,042	67	76	51	81	群馬 2%
	26年	4,107	55	80	56	46	
	27年	3,787	85	92	113	69	
さい	5ヵ年平均	3,900	71	88	76	63	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,800	90	90	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		長野中心に入荷する。現状二毛作目に入っているが、順調な生育。北海道は雨の影響で少ない。中旬に入れば全体的に増えてくると思われる。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。					
キヤベツ	23年	4,721	89	111	89	77	群馬 44%
	24年	5,097	48	49	47	52	茨城 21%
	25年	4,751	95	84	91	111	長野 17%
	26年	4,987	82	112	89	59	
	27年	4,364	135	152	138	120	
べつ	5ヵ年平均	4,784	88	99	88	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,700	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		群馬、長野中心の入荷で、下旬からは愛知、茨城から入荷する。各産地ともに天候の影響もなく順調な生育となっている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。					
ほうれんそう	23年	302	626	965	675	452	岐阜 52%
	24年	282	648	766	611	588	愛知 33%
	25年	263	630	700	555	656	長野 7%
	26年	288	558	563	562	556	茨城 5%
	27年	291	587	738	650	455	
れんそ	5ヵ年平均	285	609	723	615	528	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	300	600	620	600	580	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		岐阜を中心に愛知などから入荷する。岐阜は品種が変わり数量が増え、品質も安定してくる。愛知はハウスものがスタートし増えてくる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	12,903	99	177	108	48	長野 68%
	24年	14,201	50	50	46	55	茨城 16%
	25年	15,123	68	81	49	72	北海道 10%
	26年	14,875	54	79	52	38	群馬 5%
	27年	14,551	85	88	108	64	
さい	5カ年平均	14,331	71	93	72	56	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	14,500	75	85	75	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、茨城、北海道からの入荷となる。長野は天候不順で日照時間が短く生育は停滞気味だったが現在は回復傾向。中旬から増量見込み。茨城は台風の影響なく中旬から出荷見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は11月約12,000t、12月約14,000t、1月約12,000t、2月約11,000t、3月約8,000t、4月約6,000t、5月約7,000t、6月約6,000t、7月約6,000t、8月約6,000t、9月約10,000t、10月約14,000tと変動しています。単価は11月約80円/kg、12月約80円/kg、1月約100円/kg、2月約100円/kg、3月約120円/kg、4月約120円/kg、5月約140円/kg、6月約120円/kg、7月約100円/kg、8月約100円/kg、9月約120円/kg、10月約80円/kgと変動しています。</p>					
キヤベツ	23年	15,747	88	109	87	71	群馬 53%
	24年	16,505	42	45	37	45	千葉 17%
	25年	15,649	90	84	83	103	岩手 10%
	26年	17,085	82	114	86	54	茨城 10%
	27年	16,805	137	162	141	108	長野 4%
べつ	5カ年平均	16,358	88	103	87	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	16,700	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬を中心に、千葉、岩手、茨城からの入荷となる。各産地とも曇雨天で気温が上がらず生育が遅れ気味だが、全体的には生育は概ね良好。岩手は降雨の影響で病害が散見され出荷は少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>キヤベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は11月約13,000t、12月約14,000t、1月約15,000t、2月約16,000t、3月約18,000t、4月約17,000t、5月約16,000t、6月約15,000t、7月約15,000t、8月約16,000t、9月約17,000t、10月約18,000tと変動しています。単価は11月約80円/kg、12月約80円/kg、1月約100円/kg、2月約100円/kg、3月約120円/kg、4月約120円/kg、5月約140円/kg、6月約120円/kg、7月約100円/kg、8月約100円/kg、9月約120円/kg、10月約80円/kgと変動しています。</p>					
ほうれんそう	23年	1,367	546	845	532	404	群馬 38%
	24年	1,433	589	711	608	492	茨城 18%
	25年	1,360	567	579	504	610	栃木 15%
	26年	1,668	478	473	481	480	千葉 9%
	27年	1,678	490	648	519	381	岩手 7%
らん	5カ年平均	1,501	530	645	527	470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,650	533	650	500	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城、栃木など関東産地中心の入荷となる。9月は曇雨天が続いた影響で関東産地の生育は軟弱気味。群馬は下旬頃から露地もの出荷が始まる見込み。入荷量は下旬にかけて増量する見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は11月約1,800t、12月約1,700t、1月約1,600t、2月約1,500t、3月約1,400t、4月約1,300t、5月約1,200t、6月約1,100t、7月約1,000t、8月約900t、9月約800t、10月約1,800tと変動しています。単価は11月約400円/kg、12月約400円/kg、1月約500円/kg、2月約500円/kg、3月約600円/kg、4月約600円/kg、5月約700円/kg、6月約700円/kg、7月約800円/kg、8月約800円/kg、9月約900円/kg、10月約400円/kgと変動しています。</p>					

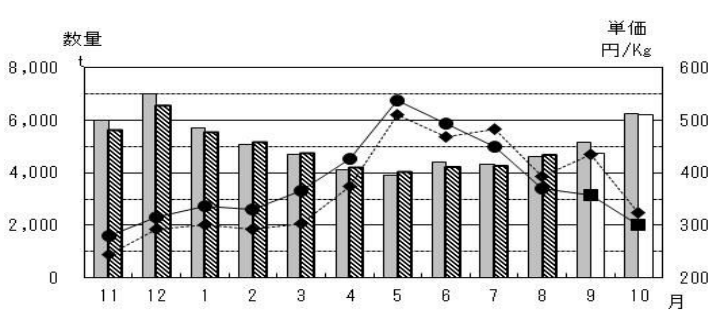
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	23年	1, 334	299	404	290	241	北海道 41%
	24年	1, 272	337	379	319	332	長野 17%
	25年	1, 160	336	334	321	358	富山 11%
	26年	1, 372	287	294	286	286	鳥取 6%
	27年	1, 315	352	408	372	306	
ぎ	5ヵ年平均	1, 291	321	362	316	304	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1, 300	340	380	350	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道中心に長野、愛知、富山などから入荷する。北海道は大雨の影響で品質が低下している。後半になれば順調に出てくる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
し た	23年	1, 751	170	240	179	124	長野 49%
	24年	1, 806	143	128	164	157	茨城 44%
	25年	1, 803	181	175	175	207	兵庫 5%
	26年	2, 409	114	125	110	122	愛知 1%
	27年	1, 791	252	350	252	184	
ス	5ヵ年平均	1, 912	168	190	171	157	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1, 800	185	180	180	190	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は長野から茨城へと切り替わる。長野は夜温も下がり数量が減少してくる。茨城は平年並みで9月下旬から10月中旬がピークとなる。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
き ゆ	23年	1, 324	326	398	290	314	群馬 39%
	24年	1, 179	295	278	285	332	山梨 16%
	25年	1, 005	355	304	265	522	長野 15%
	26年	983	296	242	294	370	北海道 7%
	27年	1, 219	293	302	310	273	
う り	5ヵ年平均	1, 142	312	302	290	353	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1, 100	316	350	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>群馬、山梨などの抑成ものを中心に、中旬以降は西南暖地の抑成ものが入荷する。不安定な入荷となっていたが、中旬以降には価格も数量も落ち着いてくる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	6,314	243	303	239	199	青森 21%
	24年	6,169	327	381	311	295	北海道 17%
	25年	6,389	296	292	278	314	秋田 15%
	26年	6,244	244	265	248	223	山形 10%
	27年	6,248	324	385	344	256	茨城 7%
ねぎ	5ヵ年平均	6,273	287	325	284	257	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,200	300	350	300	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>青森、北海道、秋田、山形からの入荷が中心となる。主要産地は出荷最盛期を迎え生育は台風の影響でまちまち。青森、北海道は倒伏等のため下位等級が多い見込み。秋田は肥大良好で順調出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
しそ	23年	8,686	163	221	169	113	茨城 54%
	24年	9,743	122	102	134	126	長野 29%
	25年	8,740	169	162	161	183	群馬 6%
	26年	10,287	108	115	99	111	栃木 4%
	27年	7,865	256	334	251	192	福岡 1%
しそ	5ヵ年平均	9,064	159	180	158	143	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,500	143	150	140	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。茨城は生育良好で中旬頃から出荷最盛期を迎える。長野は出荷前倒し傾向で終盤を迎えるが、9月の曇雨天で一部ほ場で腐りが散見される。</p> <p>入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	23年	6,196	296	351	266	283	埼玉 27%
	24年	6,213	273	238	281	312	群馬 23%
	25年	5,810	330	276	260	480	福島 14%
	26年	5,956	272	206	287	336	茨城 12%
	27年	6,601	264	269	276	250	栃木 5%
きゅうり	5ヵ年平均	6,155	286	268	274	329	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,450	280	300	270	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>埼玉、群馬など関東産地中心の入荷となる。埼玉は生育良好で中旬頃から出荷最盛期を迎える。群馬、福島、茨城は曇雨天の影響で出荷が遅れ気味。天候回復にともなって増量の見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
な す	23年	666	336	506	338	259	愛知 31%	
	24年	723	260	258	250	285	熊本 26%	
	25年	595	304	297	264	390	山梨 18%	
	26年	691	246	192	237	334	徳島 14%	
	27年	645	359	356	395	344		
	5ヵ年平均	664	299	297	295	317	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	28年見通し	650	300	300	300	300		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		愛知、熊本、山梨を中心に入荷する。9月下旬から熊本、愛知の促成ものが増えてくる。台風の被害状況に左右される。入荷量は前年並、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						
ト マ ト	23年	941	484	723	580	321	岐阜 32%	
	24年	959	537	473	571	607	愛知 18%	
	25年	1,086	453	601	377	420	熊本 17%	
	26年	1,283	374	424	348	351	北海道 12%	
	27年	1,117	463	472	519	423		
	5ヵ年平均	1,077	457	511	460	412	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	28年見通し	1,100	450	470	450	430		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		岐阜の飛騨を中心に愛知、熊本などから入荷する。夏秋から秋冬トマトへと切り替わる時期。8月の高温の影響で花が着かず出始めは少ない。下旬になれば次第に増えてくる。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。						
ミ ニ ト マ ト	23年	284	912	1,051	1,031	720	北海道 42%	
	24年	301	937	851	949	1,046	愛知 26%	
	25年	376	875	985	941	758	熊本 20%	
	26年	411	805	987	793	661		
	27年	404	913	985	910	879		
	5ヵ年平均	355	884	965	920	794	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	28年見通し	400	850	900	850	800		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		北海道、愛知、熊本を中心に入荷する。大玉同様に秋冬産地に移行していく。北海道は9月の大雨の影響で早めの切り上がりとなる。熊本、愛知は順調な生育。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	23年	3,428	338	488	318	266	高知 35%
	24年	3,994	263	280	234	280	栃木 21%
	25年	3,138	332	294	267	475	群馬 15%
	26年	3,603	260	221	247	316	茨城 14%
	27年	3,321	359	361	394	330	福岡 4%
す	5ヵ年平均	3,497	308	327	290	329	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,200	327	400	300	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>高知、栃木、群馬、茨城からの入荷が中心となる。高知は上旬から出荷が本格化し、生育、着果は概ね良好。関東産地は終盤を迎え徐々に減少、曇雨天の影響で前年より少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ト	23年	5,868	467	680	502	319	千葉 21%
	24年	5,968	528	442	576	596	茨城 14%
	25年	6,585	428	532	338	429	青森 13%
	26年	7,109	338	364	315	331	福島 11%
	27年	6,242	452	495	482	396	北海道 8%
ト	5ヵ年平均	6,354	439	498	436	412	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,500	393	380	400	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>千葉、茨城からの入荷が中心となり東北産地は終盤を迎える。千葉は抑制ものは曇雨天の影響で着色遅れ気味だが越冬ものは生育良好で下旬から出荷最盛期を迎える。茨城、青森は前進出荷で小玉傾向。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミニ	23年	1,203	863	938	1,040	649	茨城 24%
	24年	1,320	885	774	891	1,013	北海道 15%
	25年	1,748	765	868	812	654	愛知 13%
	26年	1,884	724	930	676	597	千葉 12%
	27年	1,784	873	931	846	840	熊本 8%
ミニ	5ヵ年平均	1,588	814	892	835	741	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,700	867	900	850	850	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、北海道、愛知、千葉からの入荷が中心となる。茨城、千葉は曇雨天の影響で裂果の発生と着果不良果房が散見される。北海道は8月下旬の高温で着果不良が発生し出荷は前年より少なく終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)			
				上旬	中旬	下旬	
ピーマン	23年	445	380	392	475	339	茨城 28%
	24年	447	233	248	255	297	岩手 24%
	25年	435	386	453	398	388	北海道 14%
	26年	409	306	335	346	338	
	27年	498	374	393	385	380	
マ	5カ年平均	447	337	363	374	349	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	450	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、岩手を中心に下旬は宮崎等西南暖地から入荷する。東北産地は数量も少なく終盤となっている。価格は弱含みで推移。入荷量は前年をかなり下回り、価格も前年をかなり下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	23年	2,709	109	125	117	94	北海道 100%
	24年	2,610	75	78	80	74	
	25年	2,962	95	114	95	89	
	26年	2,984	85	92	89	82	
	27年	2,987	104	111	109	98	
い	5カ年平均	2,850	94	104	99	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,500	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道から入荷する。台風による大雨の影響で、掘取りが進まない地域もある。また、ほ場内での腐敗などもあり出荷への影響がある。生食ものは一部だが、加工や種芋への影響が懸念される。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	4,226	93	106	105	83	北海道 99%
	24年	5,578	70	77	75	70	中国 1%
	25年	4,866	97	102	102	104	
	26年	6,499	75	79	79	76	
	27年	6,501	73	80	77	73	
ね	5カ年平均	5,534	80	88	86	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,500	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道から入荷する。高値で推移している中、台風による大雨の影響で被害が出ている。しかし、出荷への大きな影響はなく計画的な入荷を見込む。入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	1,804	327	363	402	240	茨城 61% 岩手 20% 福島 5% 青森 5% 高知 3%
	24年	2,101	202	172	197	241	
	25年	1,939	356	364	377	331	
	26年	1,977	269	257	262	288	
	27年	2,033	333	361	315	319	
マ	5ヵ年平均	1,971	296	301	307	284	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,000	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、岩手、福島、宮崎からの入荷が中心となる。茨城は出荷最盛期を迎え、生育は曇雨天の影響で着果数は少ない模様。岩手は生育は概ね良好だが気温低下にともない出荷は徐々に減少する。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
ばれいしょ	23年	7,192	122	123	124	120	北海道 100%
	24年	8,842	86	85	88	86	
	25年	8,747	109	119	107	101	
	26年	8,133	92	94	91	91	
	27年	7,564	109	113	109	104	
い	5ヵ年平均	8,096	103	106	103	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,300	125	130	125	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は小玉傾向で一部地域で収穫作業の遅れがみられる。台風の影響があることから出荷量は少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
たまねぎ	23年	10,581	100	103	100	97	北海道 97% 中国 3%
	24年	11,126	79	85	80	72	
	25年	10,820	107	107	105	108	
	26年	11,839	82	85	81	80	
	27年	10,916	78	81	77	76	
ね	5ヵ年平均	11,056	89	92	88	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	11,000	82	85	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は台風の影響を受けた地域はあったが全体としては影響は小さい。生育は概ね良好で玉肥大はし大中心と順調。前年並の出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	23年	13,154	262	307	269	233	長野 19%
	24年	13,841	246	295	233	221	和歌山 17%
	25年	12,253	274	301	270	261	三重 16%
	26年	12,729	257	287	263	234	フィリピン 10%
	27年	11,818	279	306	280	264	
	5ヵ年平均	12,759	263	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	11,800	280	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国内産は長野、和歌山、三重中心に入荷。秋果実が出そろふ時期となるが、今夏の天候の影響で全体的に前進化となるなか、9月の台風・長雨により品目によっては着色が遅れ気味となり出足が遅れるのものも。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					
みかん	23年	4,113	174	224	187	148	三重 46%
	24年	3,599	161	189	147	166	熊本 19%
	25年	3,680	200	215	199	194	和歌山 15%
	26年	3,710	178	213	196	145	静岡 10%
	27年	3,553	189	200	183	189	
	5ヵ年平均	3,731	180	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,600	185	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>三重を中心に、熊本、和歌山、静岡から入荷。干ばつの影響で全体的に小玉傾向の予想だが、その分糖度が高くなると思われる。10月は気温高の予報となっており、サイズもあがってくると思われる。 入荷量は前年並みとなり、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
かき	23年	2,225	260	291	251	260	和歌山 62%
	24年	2,334	223	290	216	195	岐阜 14%
	25年	1,918	254	256	249	275	愛知 11%
	26年	2,171	238	271	240	225	三重 8%
	27年	2,322	219	253	222	208	
	5ヵ年平均	2,194	238	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,300	240	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>和歌山を中心に入荷する。夏場の天候に恵まれ出始めは早かったものの、台風・長雨の影響で全体的に着色が進まず、出回るのが滞り気味となっている。 入荷量は前年並みとなり、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	23年	46,781	265	291	265	247	和歌山 14%
	24年	52,113	234	262	225	219	青森 9%
	25年	45,020	270	285	268	259	熊本 9%
	26年	48,993	254	267	251	245	長野 9%
	27年	47,454	282	302	281	265	愛媛 7%
	5ヵ年平均	48,072	260	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	46,500	280	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
みかん、かき、なし、りんご中心に入荷。なし類は後半品種が食味よく好調。上旬より「新高」が出荷ピークを迎える。りんご類は入荷量は平年並みの見込みで堅調な販売が期待される。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みとなる見込み。							
みか	23年	14,156	187	226	185	172	熊本 27%
	24年	15,304	162	181	147	166	長崎 21%
	25年	14,356	192	204	190	186	愛媛 20%
	26年	15,121	159	175	159	150	和歌山 13%
	27年	15,265	199	211	196	189	佐賀 12%
	5ヵ年平均	14,840	180	199	175	172	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	14,500	190	200	180	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、長崎などから極早生中心に入荷する。熊本は夏場の干ばつによりやや小ぶりであるが食味はかなり良好。長崎は表年傾向であるが、一部産地で極早生品種の作付面積が減少しており入荷量は前年よりやや少なくなる。入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。							
かき	23年	9,117	263	292	253	253	和歌山 43%
	24年	10,097	209	267	191	189	奈良 21%
	25年	8,196	253	235	243	279	新潟 9%
	26年	9,230	229	233	227	229	愛知 8%
	27年	10,170	212	235	215	196	福岡 5%
	5ヵ年平均	9,362	232	253	224	227	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	10,000	220	250	220	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
和歌山中心に奈良、新潟、愛知、福岡等から入荷する。前半は「刀根早生」中旬からは「平核無」中心に入荷。他に「早秋」「太秋」なども出始める。9月下旬にかけての日照不足で入荷ペースは遅い。入荷量は前年並みとなり、価格は前年をわずかに上回る見込み。							

切花・鉢花の10月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 9月30日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実 績	23年	1,802	61	
		24年	1,724	47	
		25年	1,566	53	
		26年	1,861	36	
		27年	1,799	45	
	5ヶ年平均		1,750	48	
	28年見通し		1,750	48	
<p>愛知、三重、長野中心に入荷。高冷地産の出荷は順次終了し、周年産地は秋冬品種の出荷も始まる。天候不順による日照不足で、やや出が鈍くなっており、堅調な動きが見込まれる。</p>					
小 ぎ く	実 績	23年	888	42	
		24年	951	29	
		25年	849	36	
		26年	818	29	
		27年	720	34	
	5ヶ年平均		845	34	
	28年見通し		700	35	
<p>愛知、奈良、長野等から入荷。順次高冷地産は終了に向かう。地場中心の出荷となり、需要も強くないが、量的にはあまり多くないため、堅調な動きで推移すると思われる。</p>					
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	23年	1,281	38	
		24年	1,188	68	
		25年	1,314	35	
		26年	1,185	36	
		27年	1,262	43	
	5ヶ年平均		1,246	44	
	28年見通し		1,250	45	
<p>長野、北海道、愛知を中心に入荷。今年は天候がよく、高冷地産が9月に順調だったため、後半は秀品が少なくなり、安定単価が見込める。暖地産も順調な出荷となると思われる。</p>					
か す み そ う	実 績	23年	61	175	
		24年	85	136	
		25年	110	112	
		26年	126	92	
		27年	89	151	
	5ヶ年平均		94	127	
	28年見通し		90	140	
<p>長野、福島、熊本を中心に入荷し、後半から高知、和歌山からも入荷する。高冷地産は前進出荷のため、上旬以降入荷減少する。九州など暖地も急激な増加は見込めず、業務需要が活発な月でもあり、相場は強い。品種はアルタイル、パールスター中心に入荷する。</p>					

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	23年	411	172	
		24年	381	162	
		25年	412	144	
		26年	383	147	
		27年	338	162	
	5ヶ年平均		385	157	
	28年見通し		350	160	
概要	<p>オリエンタルは新潟、四国、埼玉、九州地区から入荷。新潟のリレー出荷が順調であれば数量での心配はなさそう。鉄砲は夏の産地も終わりに近づきやや少なく、LAも同様に少ない入荷となる。販売は業務に影響され、月全体で相場の変化が多いと思われる。</p>				
洋らん	実績	23年	608	65	
		24年	561	62	
		25年	1,103	68	
		26年	556	72	
		27年	543	69	
	5ヶ年平均		674	67	
	28年見通し		550	67	
概要	<p>愛知、静岡、鹿児島、輸入等が入荷。暑さも落ち着き、洋蘭の品質も安定してくる時期であるが、最近の高い気温の影響でカトレアは例年より生育が早まっており、9月に集中し、10月は品薄気味になる見込み。昨年は9月に相場があれしたが、今年は10月の相場が不安定になると懸念される。</p>				
ばら	実績	23年	1,030	73	
		24年	1,049	77	
		25年	997	71	
		26年	974	73	
		27年	860	80	
	5ヶ年平均		982	75	
	28年見通し		900	80	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。例年上旬から入荷量は増えてくるが、9月の曇天の影響で出荷サイクルが遅れており、増えるのは中旬以降となる。そのころには今少ない上位等級も増えてくる見込み。ブライダル需要中心に引き合いは高い。</p>				
枝も	実績	23年	1,892	28	
		24年	1,668	45	
		25年	1,588	46	
		26年	1,626	45	
		27年	1,531	48	
	5ヶ年平均		1,661	42	
	28年見通し		1,600	45	
概要	<p>長野、岐阜を中心に季節感のあるツル梅、梅もどき等の実物が入荷する。紅葉物も入荷するが、天候次第では減りそうだ。花展もあり、実物や山取り物は堅調だろう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	23年	27,488	737	
		24年	25,564	792	
		25年	18,404	817	
		26年	18,287	778	
		27年	16,989	975	
	5ヶ年平均		21,346	809	
	28年見通し		17,000	971	
概要	<p>愛知県産の入荷が中心。輸入原木の減少から大幅に入荷減を見込む。サイズは7～8号が中心で大鉢は少ない見込み。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(62.6%)、2位鹿児島(13.1%)、3位沖縄(6.4%)となっている。</p>				
シヤコバサボテン	実績	23年	61,253	448	
		24年	61,116	387	
		25年	56,852	378	
		26年	42,802	370	
		27年	51,897	176	
	5ヶ年平均		54,784	356	
	28年見通し		47,000	362	
概要	<p>愛知、関東から入荷するが、ともに生産量、生産者数の減少により大幅に入荷が減る見込み。特に5号サイズの減少は顕著である。近年、生産量が減少しているが、それでも予約相対は増えず、競売価格も安定しない為、価格面でも昨年を下回る見込み。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(61.9%)、2位埼玉(31.0%)、3位茨城(4.0%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	23年	628,281	185	
		24年	520,300	177	
		25年	635,015	181	
		26年	603,249	181	
		27年	641,497	184	
	5ヶ年平均		605,668	182	
	28年見通し		640,000	184	
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。ガーデンシクラメンの入荷がピークを迎える為、3号ポットは増加の見込み。反面4号以上のサイズはやや減少傾向にある。天候次第ではあるが、ガーデンシクラメンの相場はやや苦戦が強いられると予想される。一方で4号以上のものは昨年並みの相場で推移する見込み。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位長野(34.9%)、2位愛知</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	23年	8,765	2,201	
		24年	5,020	1,983	
		25年	11,167	2,090	
		26年	9,021	2,040	
		27年	9,082	1,937	
	5ヶ年平均		8,395	2,072	
	28年見通し		9,000	2,197	
概要	<p>昨年同様に早生品種の作付けが減っていることと夏場の高温のため、10月の出荷は減少する見込み。 気温がまだ高いので昨年同様出荷前の水遣りと購入後の灌水をしっかりとお願いしたい。 昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（69.0%）、2位徳島（9.6%）、3位高知（5.6%）となっている。</p>				
カラコエ	実績	23年	50,809	201	
		24年	53,440	194	
		25年	50,183	183	
		26年	46,552	183	
		27年	51,897	176	
	5ヶ年平均		50,576	188	
	28年見通し		52,000	175	
概要	<p>5～6号のミックス植えを中心に人気があり順調に出荷がありそうだが、4号以下の相場が良くなく全体的には若干の減少の見込み。価格は入荷量が少なくなっても上がる要素は少なく、昨年並みを見込む。 昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（43.8%）、2位岐阜（38.0%）、3位愛知（8.9%）となっている。</p>				
パンジー	実績	23年	961,088	46	
		24年	775,617	44	
		25年	868,159	44	
		26年	788,490	45	
		27年	770,000	45	
	5ヶ年平均		832,671	45	
	28年見通し		710,000	52	
概要	<p>入荷量は昨年より減少を見込む。今年も残暑が厳しい為、10月初旬は出荷は少ないが10月下旬から増えてくる。暖冬であれば需要は12月まで続くが例年であれば11月まで引き合いはある見込み。 昨年10月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（32.2%）、2位奈良（24.2%）、3位福井（10.8%）となっている。</p>				

全国における主要農林水産物の輸出入実績(2016)

1 輸出実績

品名	7月						7月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
果実(生鮮・乾燥)	560	79.6	621,161	98.7	1,109	124.0	17,325	111	8,713,787	120	503	109
うんしゅうみかん	5	72.8	6,255	68.0	1,228	93.5	254	91	174,701	108	687	108
りんご	97	50.7	44,026	47.8	452	94.4	15,673	112	6,274,658	117	400	108
なし	0	14.3	337	17.8	832	124.7	27	43	12,889	39	479	91
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	385,385	113.1	3,318,620	146
緑茶	361	128.1	1,027,396	134.5	2,844	105.0	2,398	115	6,388,994	124	2,665	98

2 輸入実績

野菜(生鮮・冷蔵)	67,494	101.2	6,488,631	83.6	96	82.6	456,574	91	56,140,274	97	123	107
トマト	544	94.6	194,511	89.2	358	94.3	3,463	95	1,298,797	94	375	99
たまねぎ	32,104	105.8	1,607,179	90.5	50	85.5	153,988	78	9,605,841	93	62	119
にんにく	2,030	101.5	549,738	116.9	271	115.1	11,618	99	3,049,533	119	262	121
ねぎ	5,091	87.6	514,410	58.3	101	66.5	29,053	88	4,798,622	119	165	134
結球キャベツ	1,245	189.1	31,244	92.0	25	48.7	6,710	44	262,104	38	39	86
ブロッコリー	1,979	90.0	407,148	82.5	206	91.7	12,665	103	2,841,224	91	224	88
にんじん・かぶ	7,736	109.7	251,047	59.0	32	53.8	35,780	84	2,049,258	94	57	112
ごぼう	4,672	109.1	258,535	102.0	55	93.5	25,896	116	1,659,804	125	64	107
えんどう	51	185.5	20,764	147.5	405	79.5	493	89	247,516	107	502	121
アスパラガス	68	82.1	58,376	85.2	862	103.8	5,773	120	4,046,031	108	701	90
まつたけ	110	347.1	456,433	201.8	4,146	58.1	112	348	471,025	206	4,215	59
しいたけ	58	75.5	20,802	56.7	361	75.1	931	74	335,793	68	361	93
かぼちゃ	1,019	85.3	95,242	72.0	93	84.3	91,781	107	7,370,080	82	80	77
果実(生鮮・乾燥)	153,907	96.8	28,170,568	90.5	183	93.5	1,058,061	103	198,857,438	97	188	95
バナナ(生鮮)	77,668	93.4	8,743,986	90.8	113	97.2	566,164	101	60,073,384	103	106	102
パイナップル(生鮮)	11,150	64.2	1,103,213	71.8	99	111.9	83,202	88	8,126,051	103	98	116
レモン(生鮮・乾燥)	6,827	89.5	1,128,827	78.0	165	87.2	30,235	97	6,453,705	82	213	85
オレンジ(生鮮・乾燥)	10,292	146.9	1,325,285	130.5	129	88.8	70,057	122	9,887,324	107	141	88
グレープフルーツ(生鮮・乾燥)	14,508	96.7	1,530,202	114.8	105	118.8	60,712	84	8,167,546	89	135	106
メロン(生鮮)	1,007	128.7	111,948	101.4	111	78.8	20,118	118	2,182,515	117	108	99
ぶどう(生鮮・乾燥)	3,478	115.3	1,028,573	91.1	296	79.0	39,055	115	12,007,552	111	307	96
キウイフルーツ(生鮮)	12,003	124.3	4,088,612	117.9	341	94.8	64,337	119	22,257,027	116	346	98
いちご(生鮮)	453	89.7	433,581	75.8	958	84.5	817	94	794,233	82	973	87
切花(生鮮・乾燥)	3,047	100.7	2,527,805	88.5	830	87.9	21,350	100	19,218,157	94	900	94
鳥獣肉類	185,068	106.1	84,879,778	92.0	459	86.7	1,188,720	108	564,179,242	94	475	87
牛肉(くず肉含む)	57,936	124.5	29,716,848	99.1	513	79.6	292,948	101	166,952,893	82	570	81
豚肉(くず肉含む)	66,214	91.4	34,778,999	89.4	525	97.9	495,022	109	260,543,437	106	526	97
鶏肉	49,262	108.6	9,740,756	70.7	198	65.1	328,342	112	71,758,673	79	219	71
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	122,054	92.1	83,079,892	86.7	681	94.1	924,982	97	599,395,084	93	648	96
まぐろ類	16,090	103.3	13,175,373	98.9	819	95.8	121,420	108	109,876,717	97	905	90
さば・さんま・あじ・いわし	2,931	81.9	591,194	71.5	202	87.3	44,571	91	8,796,190	81	197	89

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

※速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

※表中に使用した符号は、次のとおりです。

- 「 0 」・・・単位に満たないもの
- 「 ... 」・・・事実不詳
- 「 - 」・・・事実のないもの

関 連 指 数

9月号から消費者物価指数については平成27年基準に改定しました。

項目 年月		消費者物価指数 <small>(全国 平成27年=100 愛知県 平成27年=100)</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年 平均	96.6	89.3	88.8	88.5	87.9
	26年 平均	99.2	92.0	92.5	95.3	96.4
	27年 平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	28年 5月	100.0	99.1	113.1	101.3	99.9
	6月	99.9	98.8	105.6	101.6	100.2
	7月	99.6	98.7	102.0	101.8	100.8
愛 知 県	25年 平均	96.5	88.7	88.8	86.4	89.4
	26年 平均	99.1	93.2	93.4	93.6	97.4
	27年 平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	28年 5月	99.9	96.6	112.8	101.4	100.5
	6月	99.8	96.4	104.7	102.5	99.2
	7月	99.4	98.1	101.1	102.4	100.0

項目 年月		農業物価指数(平成22年=100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
25年	平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	平均	102.2	98.8	97.8	93.3	118.4
	平均	107.6	88.6	110.4	105.4	126.8
	5月	114.0	93.6	108.1	141.8	131.1
28年	6月	109.4	93.6	108.6	113.5	132.4
	7月	111.6	93.4	108.4	123.8	135.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国…総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県…愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名古屋市小売価格(円)														
品目 年月	うるち米 (単一品種「コシヒカリ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)	
	5kg	1kg										100g	1kg	
25年 平均	2,149	156	202	631	499	304	162	367	225	564	652	165	494	
26年 平均	1,970	170	190	661	481	321	162	376	276	581	649	161	545	
27年 平均	1,855	202	227	691	561	374	175	373	270	623	684	180	563	
28年	5月	1,909	206	255	816	381	391	183	385	241	467	656	163	678
	6月	1,910	170	232	836	398	399	178	425	253	547	598	163	699
	7月	1,910	152	215	831	339	453	223	409	290	636	156	704	
品目 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	牛肉(ロース)	豚肉(バラ※)	まぐろ	
	1kg		100g	1kg		100g	1本		100g					
25年 平均	557	300	364	209	216	772	540	157	177	319	810	223	407	
26年 平均	584	336	437	174	240	824	533	166	175	336	861	243	428	
27年 平均	643	383	477	183	264	886	526	177	177	353	925	228	461	
28年	5月	…	426	489	190	272	1,005	497	191	187	934	228	482	
	6月	…	392	445	…	271	950	497	179	185	933	236	487	
	7月	…	316	420	…	273	868	495	173	178	911	236	477	

※豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)
＝もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.520
平成28年10月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6719